

解こう剤(かいこうざい) | Peptization reagent

洗い出し法(あらいだしほう) | Washing out method

安定なコロイド系は生成するコロイド粒子の帯電を助ける条件下で調製すればよい。この目的で用いられて入れるものの一つが解こう剤であり、電位決定イオンの量を加減して無電荷点から系を遠ざける工夫がなされている。解こう剤は多くの場合電解質溶液であるが、そのイオンが沈殿したコロイド粒子に吸着して必要な電荷を与える場合と、解こう剤が沈殿物に化学的に作用し、その生成物が表面に電荷をあたえるばあいがある。粘度粒子等の調製法として知られる“洗い出し法”は、逆に凝集塊を純水で洗浄して、過剰の電解質を取り除くことにより、粒子間の静電反発力を増大させてサスペンションを生成する方法である。“洗い出し法”は特に比較的大型のコロイド粒子、薄板状や棒状粒子の生成に有効である。

(古澤)